

# 新型コロナウィルス感染症対応ガイドライン

令和4年6月9日  
中央道沿線都市親善スポーツ大会事務局

第42回大会を開催するにあたりまして、大会事務局では新型コロナウィルス感染症対応ガイドラインを策定しました。主管競技団体および大会参加者の皆様には、本ガイドラインに沿った対応の遵守をお願いいたします。

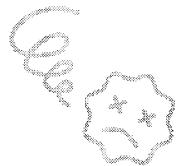
## I 主管競技団体のみなさまへ

- ・受付窓口には手指消毒剤を設置する。
- ・受付スタッフにはマスクを着用させる。
- ・発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は参加をお断りする。
- ・手洗い場所の確保と案内表示する。
- ・体育館等の屋内施設では換気扇を回し、こまめに窓開け換気等を行う。
- ・複数の参加者が触れると考えられるドアノブやテーブル、イスはこまめに消毒する。
- ・観客同士が密な状態にならないよう観客用スペースと席数を調整する。
- ・参加者から以下の情報の提出を求める（健康チェックシートの活用）
  - 氏名、年齢、住所、電話番号 ※個人情報の取り扱い注意
  - 利用当日の体温 （大会前2週間における以下の事項の有無）
    - 平熱を超える発熱の有無
    - 咳、のどの痛みなど風邪の症状の有無
    - だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）体が重く感じる、疲れやすい等の有無
    - 嗅覚や味覚の異常の有無
    - 新型コロナウィルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
    - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方の有無
    - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触の有無

## II 参加者のみなさまへ

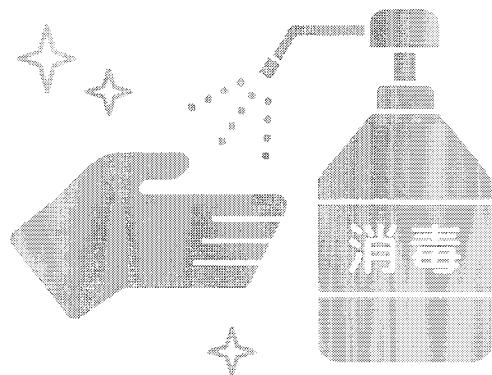
- ・運動時以外はマスクを着用してください。（特に会話時）
- ・受付時、会場入場時には手指の消毒をしてください。
- ・こまめな手洗いを心掛けてください。
- ・大声での声援、観客同士の会話は控えてください。
- ・試合前後のミーティングにおいても、三つの密をさけてください。
- ・試合前後での懇親会の開催は控えてください。
- ・休憩スペース、控室等では対面で食事や会話を控えてください。
- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウィルス感染症陽性となった場合は速やかに主管競技団体または大会事務局までご連絡ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止



# 予防対策実施のお願い

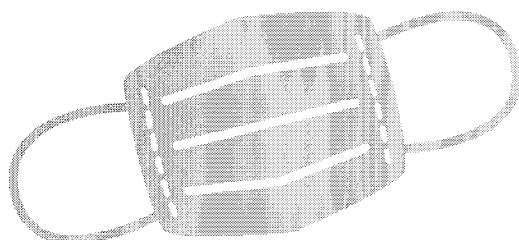
新型コロナウイルスの予防や感染拡大防止のため下記のご協力をお願いします。



## 手・指の消毒

アルコール消毒液での  
消毒をお願いします。

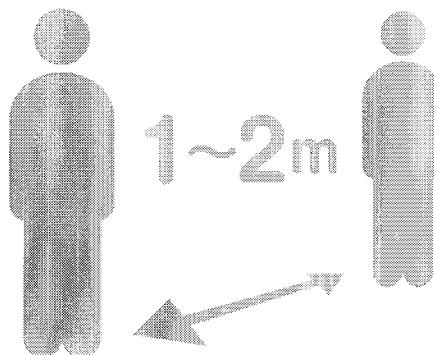
Hand Disinfection



## マスクの着用

飛沫飛散防止のため、  
着用のご協力をお願いします。

Wear a Mask



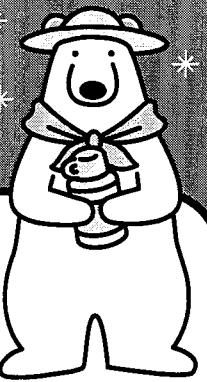
## 距離の確保

間隔を、1~2m以上とって  
お並びください。

Keep a Distance

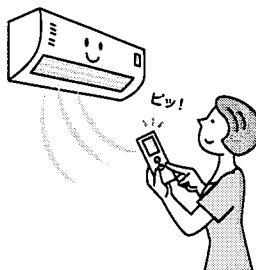
**飯田市・飯田市スポーツ協会**

# 熱中症予防のために

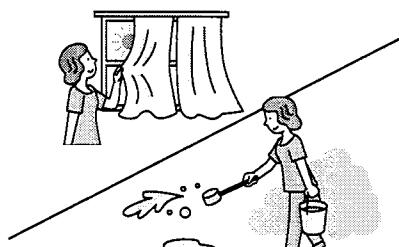


## 暑さを避ける!

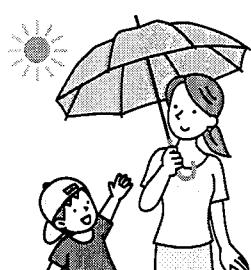
扇風機やエアコンで  
温度をこまめに調節



遮光カーテン、すだれ、  
打ち水を利用



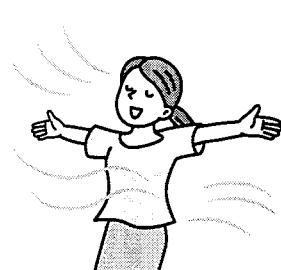
外出時には日傘や  
帽子を着用



天気のよい日は日陰の  
利用、こまめな休憩



吸湿性・速乾性のある  
通気性のよい衣服を着用



保冷剤、氷、冷たいタオル  
などで、からだを冷やす

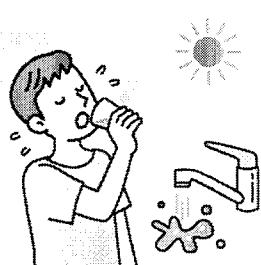


『熱中症警戒アラート』発表時には、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう



## こまめに水分を補給する!

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じていなくても  
こまめに水分・塩分などを補給



### ●熱中症予防のための情報・資料サイト

#### 熱中症予防のための情報・資料



[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/kenkou/nettyuu/nettyuu\\_taisaku/](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/)

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。